

各務原市後援等名義の使用の承認及び賞状の交付に関する要綱

(平成30年7月25日決裁)

各務原市後援等名義の使用の承認及び賞状の交付に関する要綱（平成20年6月30日決裁）の全部を改正する。

(趣旨)

第1条 この要綱は、市が後援若しくは共催（以下「後援等」という。）をする場合の後援等名義の使用の承認又は賞状の交付に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 後援 市の施策推進及び市民福祉の増進に寄与すると認められる事業を行う場合に後援の名義の使用を承認することによって、当該事業の開催を支援することをいう。
- (2) 共催 公益性が高いと認められる事業に対し、市が主催者と共同して事業を行うことをいう。
- (3) 賞状の交付 各務原市長の名義で主催者を通じて賞状を交付することをいう。

(使用できる名義)

第3条 市が後援等をする場合に使用できる名義は、各務原市とする。

(対象事業)

第4条 後援等名義の使用の承認又は賞状の交付を受けることができる事業は、その内容が次に掲げる要件を満たす事業とする。

- (1) 公共性を有するものであること。
- (2) 市の教育、芸術・文化及びスポーツの振興、市民福祉の増進並びに地域の発展に寄与するものであること。
- (3) 広く市民を対象とし、開催地が市内であること。ただし、市民の幅広い参加が期待できる事業又は市のイメージアップが期待できる事業である場合は、この限りでない。
- (4) 事業の開催に当たり、公衆衛生、災害防止等に関する措置が講じられていること。

2 前項の規定にかかわらず、当該事業が次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、後援等名義の使用の承認又は賞状の交付を受けることができない。

- (1) 法令又は公序良俗に反し、又は反するおそれのあるもの
 - (2) 営利又は商業宣伝を目的とするもの
 - (3) 政治活動又は宗教活動を目的とするもの
 - (4) 特定の政党その他政治団体、宗教団体又は結社を支持し、又は支援するもの
 - (5) 特定の思想又は主義主張を浸透させることを目的とするもの
 - (6) 市の行政の運営に支障を来すもの
 - (7) 主催者となる団体等が暴力団（各務原市暴力団排除条例（平成24年条例第2号）第2条第1号に規定する暴力団をいう。）若しくは暴力団員（同条第2号に規定する暴力団員をいう。以下この号において同じ。）と関係のあるもの又は当該団体等の構成員に暴力団員が含まれているもの
 - (8) その他後援等名義の使用の承認又は賞状の交付をすることが不適當であると認められるもの
- (申請)

第5条 後援等名義の使用の承認又は賞状の交付を受けようとする者（次条において「申請者」という。）は、事業実施日の30日前までに、各務原市共催・後援名義使用・賞状交付承認申請書（様式第1号）に、次に掲げる書類を添付して市長に提出しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、この限りでない。

- (1) 実施要領、パンフレット等事業の目的及び計画内容が確認できる書類
 - (2) 収支予算書。ただし、事業が料金等を徴収するものでない場合は、この限りでない。
 - (3) 主催者となる団体等の規約、会則その他これらに類するもの又は団体等の活動実績を記載した書類
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類
- (決定等)

第6条 市長は、後援等名義の使用の承認又は賞状の交付を行う決定をしたときは、各務原市共催・後援名義使用・賞状交付承認決定通知書（様式第2号）により、申請者に通知するものとする。この場合において、市長は、必要に応じて条件を付すことができる。

2 市長は、後援等名義の使用の承認又は賞状の交付を行わない決定をしたときは、各務原市共催・後援名義使用・賞状交付不承認決定通知書（様式第3号）により、

申請者に通知するものとする。

3 申請者は、第1項の規定による通知を受けるまでは、いかなる文書にも各務原市の名義を記載してはならない。

(変更の届出)

第7条 後援等名義の使用の承認又は賞状の交付の決定を受けた者（以下「交付決定者」という。）は、当該事業の内容に変更が生じた場合は、速やかに各務原市共催・後援名義使用・賞状交付事業計画変更届（様式第4号）を提出しなければならない。

(決定の取消し)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、各務原市共催・後援名義使用・賞状交付承認取消通知書（様式第5号）をもって交付決定者に通知し、その決定を取り消すことができる。この場合において、当該取消しにより生じた損害について、市はその賠償の責めを負わない。

(1) 第4条の規定に違反する事実が判明したとき。

(2) 第5条に規定する申請書又は添付書類に虚偽が判明したとき。

(3) 第6条第1項後段の規定により付した条件に違反したとき。

(実施報告)

第9条 交付決定者は、事業の終了後速やかに事業実施報告書（様式第6号）を市長に提出しなければならない。この場合において、当該事業が料金等を徴収するものである場合は、事業収支報告書を添付しなければならない。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が定める。

附 則

1 この要綱は、平成30年8月1日から施行する。

2 この要綱は、この要綱の施行の日以後に後援等名義の使用の承認又は賞状の交付の申請があったものについて適用し、同日前に申請があったものについては、なお従前の例による。

（宛先）各務原市長

申請者 住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電話番号

（担当者） 職 氏 名

各務原市（共催・後援名義使用・賞状交付）承認申請書

事業を実施するに当たり、下記のとおり申請します。

記

申 請 内 容	共 催 ・ 後援名義使用 ・ 賞状____点（該当項目に○を記入）
事 業 名	
事 業 目 的	
主催者（共催者）	
後援団体名（予定）	
開 催 期 日	年 月 日（ ） ～ 月 日（ ）
開 催 場 所	
対象者（予定数）	（ 人）
経 費 徴 収	無 ・ 有 （ 円）
添 付 書 類	1 実施要領等 2 収支予算書 3 主催者の会則等又は活動実績 ※収支予算書は料金を徴収する場合に限る。

第 号
年 月 日

様

各務原市長

印

各務原市（共催・後援名義使用・賞状交付）承認決定通知書

申請のありました下記事業について、各務原市の（共催・後援名義使用・賞状）を承認します。

記

事業名	
開催期日	年 月 日（ ）～ 月 日（ ）
開催場所	

備考

1. 事業内容に変更のあるときは、速やかに申請事業計画変更届を提出してください。
2. 後援等名義の使用の承認又は賞状の交付は、次に掲げる要件を満たす事業について行うものとします。
 - (1) 公共性を有するものであること。
 - (2) 市の教育、芸術・文化及びスポーツの振興、市民福祉の増進並びに地域の発展に寄与するものであること。
 - (3) 事業の開催に当たり、公衆衛生、災害防止等に関する措置が講じられていること。
 - (4) 広く市民を対象とし、開催地が市内であること。ただし、市民の幅広い参加が期待できる事業又は市のイメージアップが期待できる事業である場合は、この限りでない。
 - (5) 法令又は公序良俗に反し、又は反するおそれのないこと。
 - (6) 営利又は商業宣伝を目的としないこと。
 - (7) 政治活動又は宗教活動を目的としないこと。
 - (8) 特定の政党その他政治団体、宗教団体又は結社を支持し、又は支援するものでないこと。
 - (9) 特定の思想又は主義主張を浸透させることを目的としないこと。
 - (10) 市の行政の運営に支障を来すものでないこと。
 - (11) 暴力団又は暴力団員と関係のある団体等でないこと。
 - (12) その他後援等名義の使用の承認又は賞状の交付をすることが不相当であると認められないもの
3. 「各務原市後援等名義の使用の承認及び賞状の交付に関する要綱」に違反する事実が判明した場合は、承認の決定を取り消します。

第 号
年 月 日

様

各務原市長

印

各務原市（共催・後援名義使用・賞状交付）不承認決定通知書

年 月 日付けで申請のありました下記事業について、審査の結果、承認いたしかねますので通知します。

記

事業名	
開催期日	年 月 日（ ）～ 月 日（ ）
開催場所	
主催者団体	
承認しない理由	

（宛先）各務原市長

申請者 住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電話番号

（担当者）職 氏 名

各務原市（共催・後援名義使用・賞状交付）事業計画変更届

年 月 日付け 第 号 により承認を受けた各務原市（共催・後援名義使用・賞状）申請について、事業計画の内容を下記のとおり変更したので届け出ます。

記

事 業 名	
変 更 事 項	
変 更 前	
変 更 後	

第 号
年 月 日

様

各務原市長

印

各務原市（共催・後援名義使用・賞状交付）承認取消通知書

年 月 日付け 第 号 により承認をしました下記事業について、承認を取り消しますので通知します。

記

事 業 名	
開 催 期 日	年 月 日 () ~ 月 日 ()
開 催 場 所	
主 催 者 団 体	
取 消 理 由	

年 月 日

（宛先）各務原市長

申請者 住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電話番号

（担当者）職 氏 名

事業実施報告書

年 月 日付け 第 号 により承認を受けた事業が終了しましたので、
下記のとおり実施状況を報告します。

記

承認内容	共催 ・ 後援名義使用 ・ 賞状___点（該当項目に○を記入）
事業名	
主催者（共催者）	
開催期日	年 月 日（ ） ～ 月 日（ ）
開催場所	
参加者数	
事業の成果	※プログラム、チラシ等事業の実施内容の分かるものがあれば添付 ※料金等を徴収した場合は、事業収支報告書を添付
市長賞授与者	※賞状の交付を受けた場合のみ記入